

# 家庭・地域部門

平成29年度受賞

## 高山村ベジフルグループ

推薦者：高山村長  
活動をはじめた時期：平成23年4月

### ～活動報告～

食育推進リーダーを中心として、家庭、学校、地域、行政などが連携、協力し各ライフステージを通じた食育の取組を行っている。

主な活動は「村内統一献立」の提供で、全村各給食施設（保育所、幼稚園、小学校、中学校、ディサービス、養護老人ホーム、老健施設等）で、年に1回、同日に同一献立を提供している。農産物は地元産のみ使用し、他の食材は県内地場産物を使用して地産地消に取り組みとともに、実施日には食育に関する講話なども実施している。1日の食塩摂取量や野菜摂取量の認知度が向上したり、離れた場所でも家族が同じ給食を食べることによって、家庭で給食を通じた会話が増え、「いただきますの日」の認知度も向上するとともに、地場農産物の消費による農家の品質向上などに貢献している。

また、高山村の伝統野菜「高山きゅうり」の伝承や新しい農産物「ビーツ」の新メニュー開発やPR、地場特産物を使用した特産品の開発など、関係機関と連携し、村外に広める活動を行っている。「高山きゅうり」については、規格統制のため「高山きゅうり組合」が発足し、農家の意欲向上に繋がっている。また、新メニューを開発し、レシピ提供や試食会等の実施のほか、大手商業スーパー、地元の食堂などで考案メニューを提供することにより、地域の活性化にも繋がっている。これらの活動は、地元新聞記事に掲載され、村外からの問い合わせもあり、村の農産物の知名度が高まっている。

地場農産物を使った新メニューの開発や特産品の開発を利根実業高等学校の生徒と実施し、商品化を進めている。また、一人暮らしの高齢者や一人親世帯の子ども達に共食の場として開発メニューを提供している。

# 活動の様子

## 高山きゅうりPR教室



## NHK取材撮影



## 農産物試食会実習